

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和5年3月22日（水）

2 確認箇所

- (1) 固体廃棄物貯蔵庫第3棟、第4棟
- (2) K4タンクエリア

3 確認項目

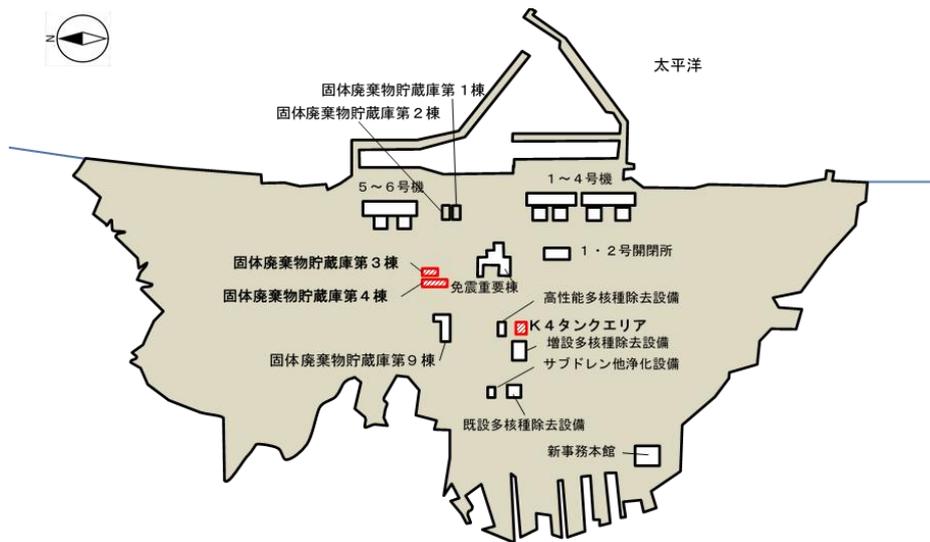
- (1) 固体廃棄物貯蔵庫第3棟、第4棟の状況
- (2) 多核種除去設備等処理水測定・確認用設備における電動弁のシートパスについて

4 確認結果の概要

(1) 固体廃棄物貯蔵庫第3棟、第4棟の状況について

固体廃棄物貯蔵庫は、原発事故前から保管されていた放射性固体廃棄物や、廃炉作業で発生した瓦礫等を保管する目的で設置されている。廃棄物管理の状況を確認するため、今回は固体廃棄物貯蔵庫第3棟、固体廃棄物貯蔵庫第4棟（以下それぞれ「第3棟」、「第4棟」という。）の状況を確認した。（図1）

- ・第3棟では、使用済保護衣等の廃棄物を可燃物や難燃物に仕分けし、一時保管する作業が行われており、トラックで運ばれてきた廃棄物を1m³コンテナに入れ、フォークリフトで運搬し、蓋をして一時保管する作業が行われていた。（写真1）
- ・第4棟では、放射性廃棄物であることを示す標識がついたドラム缶やコンテナが保管されていたほか、貯蔵する廃棄物の容量を確保するため、フォークリフトでドラム缶を積み替えする整理作業が行われていた。（写真2）
- ・第3棟、第4棟の両方で、廃棄物の管理状況に問題は見られなかった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
第3棟における廃棄物一時保管
の状況



(写真1-2)
第3棟における廃棄物仕分け作
業の状況



(写真2-1)
第4棟における廃棄物の保管状
況



(写真 2 - 2)
第 4 棟におけるドラム缶整理作
業の状況

(2) 多核種除去設備等処理水測定・確認用設備における電動弁のシートパス
について

3月19日、多核種除去設備等処理水測定・確認用設備において、循環・攪拌運転を行っていたB群タンクとは別のA群A10タンクで水位低下が起こったことが判明した。東京電力はA10タンクの出口弁を閉めるとともに、原因はタンクA群の隔離弁である電動弁2つのシートパスであると推定しており、今回はその現場の状況を確認した。(図1)

- ・ A 1 0 タンクの出口弁は閉められていた。
- ・ 当該電動弁はビニールで養生されていた。



(写真 3)
電動弁の様子

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。